

令和7年度

社会福祉法人あま市社会福祉協議会 事業報告書

■ 報告概要

第3次あま市社会福祉協議会地域福祉活動計画に基づき、基本理念であります「みんなでつくり みんなが集う あまの福祉コミュニティ」を念頭に、様々な事業の展開及び推進に取り組みました。

特に、重点活動目標のひとつであります基幹相談支援センターをあま市から受託し、専門性を有した職員を配置し体制を整え、障がい者の自立支援に向けて順調に基幹相談支援センターの運営を行いました。

また、あま市とともに株式会社バローホールディングス様や株式会社セブン・イレブン・ジャパン様と、フードドライブポストや回収ボックスの設置に関する協定を行い、フードドライブに対する支援の輪を広げ、事業の周知や強化を図ることができました。

その他に関係機関との連携により地域福祉を推進するため、以下の各種事業に取り組みました。

■ 報告内容

(1) 企画・広報事業

①まるっとあま（社協だより）

市民に対して本会の活動状況及び事業等の情報を発信するとともに、より見やすく、親しみやすい情報誌の作成に努めました。

◆発行 年4回（4月・7月・10月・1月）

◆作成部数 148, 440部

内 訳	4月	37, 060部	7月	37, 060部
	10月	37, 160部	1月	37, 160部

令和6年度

作成部数 148, 110部

内 訳	4月	37, 000部	7月	37, 000部
	10月	37, 050部	1月	37, 060部

②ホームページ（スマートフォン対応）

随時更新することで、日頃の社協活動をはじめ、福祉に関する情報提供を行うことや各種申請書等もダウンロードできるように利便性の向上に努めました。

◆閲覧件数 8, 241件

令和6年度

閲覧件数 12, 885件

③ SNS の活用

LINE 公式アカウント及び Instagram を使用し、登録をされている方々に本会の活動状況及び事業等の福祉の情報を積極的に発信し、認知度の向上や事業参加の促進等に努めました。

◆ LINE

登録者件数 1, 057 件

令和6年度

登録者件数 1, 001 件

◆ Instagram

登録者件数 508 件

④ マスコットキャラクターの活用

マスコットキャラクター、「あーちゃん」と「まーちゃん」の様々なイラストを作成し、ホームページや SNS 及び広報誌にて活用し、あま市社会福祉協議会の認知力の向上を図りました。

⑤ 福祉出前講座の推進

出前講座を通じて、本会の事業や取組に対し職員を講師として派遣を行い、地域福祉への関心を高め、市民との協働による地域福祉活動と啓発活動の推進を図ることを目的に実施しました。

◆ 出前回数 4 回

令和6年度

出前回数 4 回

⑥ あま市社会福祉協議会地域福祉活動計画推進委員会の実施

第3次計画では市の基本理念と共有し「みんなでつくりみんなが集うあまの福祉コミュニティ」に基づき、社会福祉協議会の地域福祉活動計画の令和6年度事業実績・令和7年度実施計画について協議しました。

◆ 地域福祉活動計画推進委員会の開催

期 日 令和7年11月17日（月）

場 所 あま市役所

（2）地域福祉推進事業

① 会員募集

地域福祉の推進を図るため、必要な事業財源を確保することを趣旨として、強化月間（6月に法人会員年額1口3,000円、7月に普通会员年額1口500円）として実施しました。法人会員募集については、銀行振込による依頼や職員が訪問して加入に努めました。また、普通会员募集については7月、10月に各区会を通じて協力を依頼しました。

◆ 法人会員 469件 2,675,000円

普通会员 4,657件 4,071,080円

令和6年度

法人会員 480件 2,560,950円

普通会員 5,550件 4,487,630円

②配食サービス

市内に居住する概ね65歳以上の単身世帯、高齢者世帯、又は身体障がい者であって、食事を作ることが困難な方を対象に、毎週月曜日から土曜日(週6回まで利用可能)までに1食400円の負担金にて弁当の宅配を行い、合わせて安否確認を実施しました。

◆登録者数 89人 ◆実人数 75人

◆配食数 合計 13,336食

令和6年度

登録者数 93人 実人数 66人

配食数 合計 12,388食

③寝具洗濯乾燥消毒サービス

市内に居住する概ね65歳以上の単身世帯、高齢者世帯、又は身体障がい者であって、老衰、心身の障がい及び傷病等の理由により、寝具類の衛生管理が困難な方を対象に、費用無料で寝具の乾燥・消毒を年4回(4月・8月・10月・2月)、洗濯(※1回につき掛布団・敷布団・毛布4枚まで)を年2回(6月・12月)実施しました。

◆登録者数 91人 利用件数 368件

令和6年度

登録者数 92人 利用件数 347件

④車いすの貸出

市内に居住する他制度を利用できない方で、傷病等により車いすを一時的に必要とする方を対象に、1か月を期限として無料で車いすを貸出しました。

◆利用件数 311件

内 訳 本 所 156件 美和支所 107件 七宝支所 48件

令和6年度

利用件数 243件

内 訳 本 所 117件 美和支所 78件 七宝支所 48件

⑤福祉教育の推進

福祉教育を推進するため、市内の小学校・中学校・高等学校を社会福祉協力校に指定しました。児童・生徒が、障がい者や高齢者への理解を深め、地域交流や地域福祉活動を学ぶ機会として、すべての指定校で福祉実践学習を実施しました。

総合的な学習時間の一環として福祉実践教室を取り入れる学校からの相談を受け、年間3回実施する学校もありました。

また、人権推進課主催の市民人権講座にて、講師調整や企画立案を担当し、地域住民向けの福祉教育を実施しました。

◆社会福祉協力校数

小学校 12校 中学校 5校 高等学校 2校

◆福祉実践教室延べ参加者数 3,152人

小学校 1,675人 中学校 734人 高等学校 743人

6月 4日 (水)	秋竹小学校	79人
6月 6日 (金)	七宝中学校	112人
6月11日 (水)	甚目寺東小学校	100人
6月13日 (金)	美和小学校	160人
6月17日 (火)	美和東小学校	136人
6月19日 (木)	七宝北中学校	53人
6月26日 (木)	美和中学校	198人
7月 1日 (火)	甚目寺小学校	91人
10月 2日 (木)	美和高等学校	159人
10月 7日 (火)	宝小学校	57人
10月 9日 (木)	七宝小学校	110人
10月16日 (木)	美和高等学校	159人
10月22日 (水)	五条高等学校	266人
10月23日 (木)	美和高等学校	159人
10月24日 (金)	甚目寺西小学校	176人
10月31日 (金)	甚目寺南小学校	93人
11月 7日 (金)	正則小学校	161人
11月 7日 (金)	美和東小学校	46人
11月14日 (金)	甚目寺中学校	213人
12月 3日 (水)	篠田小学校	176人
12月 5日 (金)	美和東小学校	180人
12月 9日 (火)	伊福小学校	110人
2月26日 (木)	甚目寺南中学校	158人

令和6年度

福祉実践教室延べ参加者数 2,601人

小学校 1,276人 中学校 700人 高等学校 625人

⑥福祉団体の育成・援護

市内6団体に対して支援を行い、活動の強化及び向上を図りました。

- ◆団体名 ・老人クラブ連合会 ・子ども会連絡協議会
- ・身体障害者福祉協会 ・心身障害児者保護者会
- ・母子寡婦福祉会 ・遺族連合会

⑦たすけ愛協力店

地域福祉活動の推進にご協力いただける市内の店舗、事業所等を「たすけ愛協力店」と位置付け、身近なところに福祉に関する情報やたすけ愛チャリティボックス等を設置することにより、広く市民の皆様へ福祉の理解を深めていただくことを目的として実施しました。

◆設置件数 34件

令和6年度

設置件数 39件

(3) 共同募金配分事業

①ふれあい・いきいきサロンの支援

地域住民が生きがいづくりや健康づくりを気軽にいきいきサロンを行い、地域交流やたすけあいを育む活動拠点として、サロン活動を推進するために必要な相談支援及びサロン運営費の補助を行いました。住民からの要望により、週1回の頻度で実施するサロンも2会場に広がっています。

また、令和6年度実施した半田市のサロン実践者との交流会をきっかけに、令和7年度は先進的な取り組みを行っている同市のサロンへの視察を実施しました。

◆サロン数 29会場

内 訳 甚目寺地区 7会場 美和地区 10会場

七宝地区 12会場

月1回実施 23会場 月2回実施 4会場 週1回実施 2会場

令和6年度

サロン数 28会場

②ボランティア団体への補助

市内における、無償福祉ボランティアの活動支援を目的として、補助金を交付しました。

◆補助対象 無償福祉ボランティア団体（9団体）

○手話サークル七宝 ○手話サークルじもっ子

○手話・あま ○手話グループ美和

○手話サークルさくらそう ○音訳あま

○点訳あいうえお

○美和おはなしグループグー・チョキ・パー

○特定非営利活動（NPO）法人あま市防災ネット

令和6年度

補助対象 無償福祉ボランティア団体（10団体）

③車いす専用車の貸出

傷病等により歩行や車両の乗り降りが困難なあま市内に住所を有する方、又は親族があま市に住所を有する方に対し費用無料で車いす専用車の貸出を行い、日常生活の便宜や社会参加の促進を図りました。

◆利用件数 170件

内 訳 通院 120件 その他外出 50件

令和6年度

利用件数 145件

④親子防災体験事業

幼児・小学生・中学生及びその保護者を対象とし、あま市内在住・在勤の方へ防災に関する知識を身につけ意識を高めるとともに、体験を通して参加者相互の交流を深めることを目的に実施しました。

今年度は体験ブースの運営にあたり、企業、学校、ボーイスカウト、NPO法人、公的機関など計7団体及び個人2名のご協力をいただき、多様な視点からの防災啓発を行いました。

◆期 日 1月31日（土） ◆場 所 甚目寺総合体育館

◆参加者数 114人（大人54人・子ども60人）

⑤心身障がい児・者クリスマス会

市内に居住する療育手帳所持者を対象に、参加者相互の交流及び親睦を深めることを目的にクリスマス会を開催しました。

◆期 日 12月6日（土） ◆場 所 甚目寺総合福祉会館

◆参加者数 73人

⑥あまのかけあしS（移動援助サービス事業）

市内に居住する75歳以上の単身又は高齢者世帯で、自力での外出が困難であり、かつ親族等の協力が得られない方で利用時に介助者の同行が可能な方を対象に、月2回（1回3時間以内）、平日の午前9時から午後5時までの範囲でボランティアによる移動援助サービスを実施しました。

◆登録者数 12人 ◆利用数 47回（延べ）

令和6年度

登録者数 20人 利用数 77回（延べ）

⑦小・中学校入学児童生徒への祝品

《小学校入学児童祝品》

市内における小学校へ入学する児童を対象に、学校生活において必要な文房具類を祝品として支給しました。

◆支給件数 719件

令和6年度

支給件数 740件

《中学校入学生徒祝品》

ひとり親世帯等を支援するため、市内外における中学校へ入学するひとり親世帯等の生徒を対象に「図書カード」を祝品として支給しました。

◆支給件数 34件

令和6年度

支給件数 27件

⑧福祉人材育成事業

介護・障がい福祉分野における福祉人材確保のため、未経験介護職希望者に対し、介護職員初任者研修を行い、あま市内における福祉人材不足の解消と就労の機会を提供しました。

◆期 日 9月20日（土）から1月31日（土）までの15日間

◆受講者数 12人

令和6年度

受講者数 10人

⑨フードドライブ・フードパントリー事業

生活困窮にある世帯への支援として、「フードドライブ」、「フードパントリー」を実施しました。

また、食料品の配布時にアンケート調査を行い、生活福祉資金貸付制度や民生委員・児童委員の支援活動につなげました。

◆フードドライブ（食品提供）実績

公共施設5か所、V・drug3店舗（令和7年8月27日設置）、セブン-イレブン7店舗（令和8年2月5日設置）及びイベントにおいて、食品回収を実施しました。また、法人・事業所等より地域貢献として、食品をいただきました。

食料品 3,054個（463品目）、精米135kg

◆フードパントリー（食品配布）実績

申請いただいた子育て世帯105世帯、市内こども食堂4か所及びあま市母子寡婦福祉会へ配布

・申請いただいた子育て世帯

12月20日（土）甚目寺総合福祉会館駐車場においてドライブスルー方式で配布及び12月22日（月）から12月26日（金）までの期間において、甚目寺総合福祉会館及び七宝老人福祉センター、美和総合福祉センターすみれの里の窓口にて配布

・市内こども食堂 7回配布

・あま市母子寡婦福祉会 2回配布

令和6年度

期 日 ①12月21日（土）

②12月23日（月）から12月27日（金）まで

場 所 ①甚目寺総合福祉会館 駐車場にて配布

②甚目寺総合福祉会館・七宝老人福祉センター

美和総合福祉センターすみれの里 窓口にて配布

フードドライブ（食品提供）実績

食料品 2,178個（383品目）、精米150kg

フードパントリー（食品配布）実績

106世帯と市内こども食堂4か所・あま市母子寡婦福祉会へ配布

(4) ボランティアセンター運営事業

ボランティアセンターでは、ボランティア活動をしたい方とボランティア活動に来てほしい方を繋げ、ボランティア活動の機会を広く提供すると共に、ボランティア活動の輪を広げ、情報の提供や各種講座を開催し、地域支援活動に関するボランティア相談や支援を行いました。

◆登録者数 個人 141人 団体 82団体(1,567人)

令和6年度

登録者数 個人 131人 団体 110団体(1,972人)

① ボランティアセンター運営委員会

ボランティアセンターの事業推進及び機能充実を図るため、運営委員会を設置し、ボランティア事業について協議をするとともに、今後のボランティアセンターにおける方向性等を検討し、ボランティア活動の活性化に努めました。

◆運営委員会 3回開催

◆期 日 第1回 6月19日(木) 第2回 9月29日(水)
第3回 3月24日(月)

◆会 場 甚目寺総合福祉会館

令和6年度

運営委員会 3回開催

期 日 第1回 6月27日(木) 第2回 9月26日(木)
第3回 3月24日(月)

※第3回は、研修として半田市社会福祉協議会ボランティアセンターに視察に行きました。

会 場 甚目寺総合福祉会館

② ボランティア養成講座の開催

あま市で必要とされるボランティア活動を推進するため、各講座を通じて、活動に必要な基礎知識や技術を学ぶ機会を提供しました。

○ボランティア養成講座

◆期 日 8月23日(土) ◆場 所 甚目寺総合福祉会館

◆受講者 20人

○手話奉仕員養成講座

◆期 日 5月6日(金) から 3月13日(金) までの40日間

◆場 所 甚目寺総合福祉会館及び甚目寺公民館

◆受講者 21人

○移動援助サービス協力員養成講座

◆期 日 12月13日(土) ◆場 所 甚目寺総合福祉会館

◆受講者 6人

③ 安心支え合いネットワーク事業

市内に居住する 65 歳以上の単身世帯及び高齢者世帯を対象に、「見守り・声かけ・お助け・安心電話」といったボランティア活動を実施しました。

- ◆ ネット員登録者 88 人
- ◆ 利用登録者 67 人
- ◆ 利用サービス別人数
 - ・ 見守り 16 人
 - ・ 声掛け 15 人
 - ・ お助け（ゴミ出し・買い物支援） 6 人
 - ・ 安心電話 45 人

令和 6 年度

- ネット員登録者 95 人
- 利用登録者 70 人
- 利用サービス別人数
 - ・ 見守り 21 人
 - ・ 声掛け 20 人
 - ・ お助け（ゴミ出し・買い物支援） 9 人
 - ・ 安心電話 73 人

④ ボランティアフェスティバルの開催

あま市民活動センターとの共同運営による「第 9 回あまのわ（社協ボランティアフェスティバル×市民活動祭）」を開催し、ボランティア団体及び市民活動団体による活動紹介・展示コーナー及び、物販コーナー等を催し、住民参加によるボランティア啓発活動を行いました。

令和 7 年度は、あま市役所第 1 駐車場が会場となり、ボランティアセンターとして点字や手話、車いすなどのボランティア体験企画をボランティア団体と協力して実施しました。

- ◆ 期 日 10 月 18 日（土）
- ◆ 来場者数 約 5,300 人 ◆ 場 所 あま市役所第 1 駐車場

令和 6 年度

- 期 日 10 月 18 日（土）
- 来場者数 約 3,800 人 場 所 美和文化会館

○ 西尾張ブロックボランティアフェスティバルの開催

令和 7 年度は、あま市が西尾張ブロックボランティアフェスティバルの開催地となり、「ボランティア同士の意見交換をとおして新たな気づきを」をテーマに講演会と 14 市町村のボランティア、社会福祉協議会職員で意見交換会を行い、ボランティア活動の課題を共有し、意識や意欲の向上を図ることができました。

- ◆ 期 日 1 月 24 日（土）
- ◆ 場 所 あま市美和文化会館
- ◆ 参加者数 西尾張ブロックボランティアフェスティバル推進委員会
14 市町村のボランティアと社会福祉協議会職員
約 280 人

令和 6 年度

- 期 日 2 月 15 日（土）
- 場 所 アデリア総合体育文化センター
- 参加者数 ボランティア団体（12 団体 18 人）

⑤ボランティア保険の加入

ボランティア保険加入者の活動中におけるケガ等による傷害保険・賠償保険の受付窓口を行いました。

◆ボランティア活動保険

加入者数 2, 118人（団体 163団体 個人 51人）

◆ボランティア行事用保険

加入件数 52件

◆事故報告 4件

令和6年度

ボランティア活動保険 加入者数 1, 899人

ボランティア行事用保険 加入件数 53件

事故報告 1件

⑥災害ボランティアセンター設置・運営訓練

多発する自然災害に備え、令和7度から災害ボランティアセンター設置・運営訓練を年2回実施することとしました。被災者の生活復興支援における社会福祉協議会の役割をはじめ、災害ボランティアセンター運営支援システムや業務継続計画の非常時優先業務の共有について職員全員で取り組みました。

職員防災研修

◆プログラム 避難所運営ゲーム HUG、地域（避難所）における被災者支援

◆期 日 12月6日（土）

◆場 所 美和総合福祉センターすみれの里

◆参加者数 42人

災害ボランティアセンター設置・運営訓練

◆プログラム 災害ボランティアセンター運営支援システム「kintone」について、ニーズ受付の演習、業務継続計画の非常時優先業務の共有

◆期 日 2月28日（土）

◆場 所 甚目寺総合福祉会館

◆参加者数 50人

令和6年度

期 日 3月8日（土）

場 所 美和総合福祉センターすみれの里

参加者数 44人

(5) 介護保険事業

①居宅介護支援（ケアマネジメント）

利用者が、可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう介護支援専門員（ケアマネジャー）が心身の状況や置かれている環境に応じた介護サービスを利用するためのケアプランを作成し、そのプランに基づいて適切なサービスが提供されるよう、定期的にモニタリングを行い、適宜、事業者や関係機関との連絡・調整を行うとともに、介護サービスを利用するにあたり、介護保険認定調査を本人や家族への面接により行い、心身状況の聞き取り調査を行いました。

事業所名 あま市社会福祉協議会居宅介護支援事業所

営業曜日 月曜日から金曜日まで（ただし、祝日及び年末年始は除く）

営業時間 午前8時30分から午後5時15分まで

種 別 居宅介護支援・介護予防支援・介護保険・要介護認定訪問調査・第1号介護予防支援事業（介護予防ケアマネジメント）

◆延べ利用者 3, 069人

◆介護保険認定調査数 35人 ◆休日・夜間対応件数 1件

令和6年度

延べ利用者 2, 961人

介護保険認定調査数 66人 休日・夜間対応件数 1件

②訪問介護（ホームヘルプサービス）

利用者が可能な限り自宅で自立した日常生活を送ることができるよう、訪問介護員（ホームヘルパー）が利用者の自宅を訪問し、食事・排泄・入浴等の生活の支援（生活支援）を行いました。

事業所名 あま市社会福祉協議会訪問介護事業所

営業曜日 月曜日から金曜日まで（ただし、必要と認められる場合は休日及び営業時間外において可能な限り対応いたします。）

営業時間 午前8時30分から午後5時15分まで

種 別 訪問介護・第1号訪問事業（訪問従来型サービス・訪問基準緩和型サービス）・あま市ホームヘルプサービス

◆延べ利用者数 3, 372人

令和6年度

延べ利用者数 3, 285人

(6) 地域包括支援センター（委託型）

地域で暮らす高齢者やその家族が安心して暮らせるように、福祉、医療、介護等の様々な面から総合的な支援を行いました。

事業所名 あま市社会福祉協議会地域包括支援センター

営業曜日 月曜日から金曜日まで（ただし、祝日及び年末年始は除く）

営業時間 午前8時30分から午後5時15分まで

事業場所 甚目寺総合福祉会館・美和総合福祉センターすみれの里・七宝老人福祉センター

①指定介護予防支援業務

介護保険において、予防給付の対象となる要支援１・２と認定された人に対して、要支援状態の改善や重度化の予防のために介護予防支援を実施し、申請手続き、契約、介護予防プラン作成、給付管理等の業務を実施しました。

また、業務の一部（アセスメント、介護予防プラン作成等）について、７４件（市内２７件・市外４７件）の居宅介護支援事業所に委託しました。

◆延べ利用者数 ６，９６６人

令和６年度

延べ利用者数 ６，５３８人

②介護予防ケアマネジメント業務

介護保険において、介護予防・生活支援サービス事業の対象となる要支援１・２、事業対象者と認定された人に対して、要支援状態の改善や重度化の予防のために介護予防ケアマネジメントを実施し、申請手続き、契約、介護予防プラン作成、給付管理等の業務を実施しました。

また、業務の一部（アセスメント、介護予防プラン作成等）について、７４件（市内２７件・市外４７件）の居宅介護支援事業所に委託しました。

◆延べ利用者数 ３，５８８人

令和６年度

延べ利用者数 ３，６３７人

③総合相談支援事業

高齢者に対するワンストップサービスの拠点として、地域に住む高齢者の様々な相談を受け止め、適切な機関、制度、サービスにつなぎ、継続的に支援しました。

◆延べ相談件数 １０，２２８件

令和６年度

延べ相談件数 １１，２２６件

④権利擁護事業

高齢者が地域において尊厳のある生活を維持し、安心して生活を行うことができるよう、高齢者虐待や消費者被害の相談対応・防止啓発、成年後見制度の利用支援・周知等を市職員及び関係機関と連携し実施しました。

◆延べ相談件数 ４０件

令和６年度

延べ相談件数 ７０件

⑤包括的継続的ケアマネジメント事業

(1) サービス事業者連絡会

サービス事業者間のネットワークづくり及び、適切なサービス提供について研修するとともに、介護保険制度や社会資源についての情報提供や情報交換を行い、介護に携わる人々のスキルの向上を目指しました。

- ◆期 日 5月20日（火）から3月19日（木）までの全6回
- ◆場 所 甚目寺総合福祉会館
- ◆延べ参加者数 209人
令和6年度
延べ参加者数 239人

(2) 居宅介護支援事業所交流会

居宅介護支援事業所の介護支援専門員を対象に、ケアマネジャーのネットワークづくり及びケアマネジメント業務に関する研修会を通して情報提供や情報交換を行い、スキルの向上を目指しました。

- ◆期 日 4月22日（火）から2月17日（火）までの全6回
- ◆場 所 甚目寺総合福祉会館
- ◆延べ参加者数 187人
令和6年度
延べ参加者数 187人

(3) 地域ケア個別会議

個別ケースの課題検討を行い、各分野の方々の理解と多職種間の連携を深め、その中で地域課題の発見等につながるよう会議を開催しました。

- ◆延べ検討件数 2件
令和6年度
延べ検討件数 7件

(7) 生活支援体制整備事業（委託型）

単身や夫婦のみの高齢者世帯、認知症の高齢者が増加する中、高齢者の身近な生活を支援する環境づくりを推進しました。

①相談・活動件数

- ◆延べ件数 507件
令和6年度
延べ件数 421件

②周知啓発活動

- ◆生活支援コーディネーターだより（まるっとあま掲載）年4回
- ◆社協ホームページで生活支援体制整備事業の周知
- ◆出前講座：0回
令和6年度
生活支援コーディネーターだより（まるっとあま掲載）年4回
社協ホームページで生活支援体制整備事業の周知
出前講座：1回

③協議体

生活支援等サービスの体制整備に向け多様な主体間の情報の共有、連携及び協働による資源開発等を推進するための話し合いの場の整備を行いました。

- (1)第2層協議体(七宝地区：6回・美和地区：6回・甚目寺地区：5回)

(2) 協議体合同交流会

◆期 日 3月2日(月) ◆場 所 あま市役所

◆参加者数 31人

(3) 協議体群

住民主体による生活支援サービス団体への支援 4件(伊福地区)
令和6年度

(1) 第2層協議体(七宝地区:5回・美和地区:5回・甚目寺地区:5回)

(2) 協議体合同交流会

◆期 日 3月12日(水) ◆場 所 あま市役所

◆参加者数 26人

(3) 協議体群

住民主体による生活支援サービス団体への支援 3件(伊福地区)

(8) 指定管理受託事業(老人福祉センター)

※就労継続支援B型及び生活介護は、障がい福祉サービスに記載しております。

総合的な福祉サービスを提供するとともに、市民の健康の増進と福祉活動を助長し、社会交流及び福祉の向上を図り、各種相談、入浴、教養の向上及びレクリエーションのための便宜の供与を行いました。

(1) 名 称 美和老人福祉センター・七宝老人福祉センター

開 館 日 月曜日から金曜日まで(ただし、祝日及び年末年始は除く)

開館時間 午前8時30分から午後5時15分まで

利用時間 午前9時から午後4時まで

◆延べ利用者数 美和老人福祉センター 16,206人

七宝老人福祉センター 24,624人

令和6年度

延べ利用者数 美和老人福祉センター 20,699人

七宝老人福祉センター 22,535人

(2) 名 称 あま市老人福祉センター

(あま市甚目寺総合福祉会館内)

開 館 日 月曜日から土曜日まで(ただし、祝日及び年末年始は除く)

開館時間 午前8時30分から午後5時15分まで

利用時間 午前9時から午後5時まで

◆延べ利用者数 18,584人

令和6年度

延べ利用者数 17,497人

(9) 基幹相談支援センター事業（委託相談との一体運営）

市からの受託による一般相談を行うとともに、身体・知的・精神に障がいのある方及び難病の方、その家族や支援者等も対象とし、日常生活又は、社会生活を安心して営むことができるよう、相談等の支援を行いました。

また、地域の相談支援事業所への後方支援や人材育成などを通じて、地域の相談支援体制の強化に努めるとともに、障がいのある方の権利擁護、虐待防止に関する啓発や、相談等を行いました。

あま市障がい者支援協議会事務局として、障がい福祉に関する関係機関との連携、協働により、障がいのある方やその家族が暮らしやすい地域づくりに努める等の事業を行いました。

①総合的・専門的な相談支援業務

◆ 延べ対応回数 1,939件

(内訳)

身体障がい	(障がい者	308件	障がい児	28件)
重症心身障がい	(障がい者	0件	障がい児	2件)
知的障がい	(障がい者	296件	障がい児	136件)
精神障がい	(障がい者	822件	障がい児	138件)
発達障がい	(障がい者	45件	障がい児	104件)
高次脳機能障がい	(障がい者	12件	障がい児	0件)
難病	(障がい者	32件	障がい児	9件)
その他	(障がい者	7件	障がい児	0件)

②地域の相談支援体制強化の取組

- (1) 地域の相談支援事業者に対する助言・指導 186件
- (2) 地域の相談支援事業所への人材育成支援 17件
- (3) 地域の相談機関との連携強化 55件
- (4) 研修・講座や制度の理解啓発活動 17件

③あま市障がい者支援協議会の運営業務

- ◆障がい者支援協議会 ・運営会議 6回
- ◆そうだん部会 ・検討会議 3回 ・事業所交流会 12回
- ◆はたらく部会 ・検討会議 4回 ・事業所交流会及び研修会 5回
- ◆こども部会 ・検討会議 4回 ・コア検討会議 6回
・事業所交流会 3回
- ◆くらし部会 ・検討会議 4回 ・コア検討会議 4回
・事業所交流会 2回

令和6年度（委託相談として運営協力）

- ◆障がい者支援協議会 ・運営会議 6回
- ◆相談支援部会 ・検討会議 3回 ・事業所交流会 12回
・視察研修（一宮特別支援学校）11月28日（木）
- ◆就労支援部会 ・検討会議 4回 ・事業所交流会及び研修会 5回
- ◆子ども支援部会 ・検討会議 4回 ・コア検討会議 6回
・事業所交流会 3回

- ◆生活支援部会 ・ 検討会議 4 回 ・ コア検討会議 4 回
- ・ 事業所交流会 2 回

④地域移行・地域定着に関する業務

- (1) 地域移行のための支援 1 5 4 回
- (2) 地域定着のための支援 0 回

⑤地域生活支援拠点に関する業務

- (1) 拠点整備のための協議 5 回
- (2) 拠点事業利用のための支援 0 回

⑥権利擁護・虐待防止に関する業務

- (1) 権利擁護・虐待防止に関する対応 1 3 7 回
- (2) 権利擁護・虐待防止のための取組 1 回

⑦障害支援区分認定調査

- ◆令和 7 年度 3 1 3 件
- 令和 6 年度 3 2 9 件

(10) 計画相談支援事業

障害福祉サービス事業において対象となる障がい児者等に対し、ご利用者の心身の状況やその環境に応じて、ご本人の意向を尊重し適切な保健医療サービス及び障害福祉サービス等が、総合的かつ効率的に提供されるよう支援を行い、サービス等利用計画の作成業務を行いました。

事業所名 あま市社会福祉協議会障害相談支援事業所

営業曜日 月曜日から金曜日まで（ただし、祝日及び年末年始は除く）

営業時間 午前 8 時 3 0 分から午後 5 時 1 5 分まで

- ◆計画作成件数 2 6 6 件（障がい者 1 7 1 件 障がい児 9 5 件）
- (内訳)

新規作成件数 (障がい者 9 人 障がい児 6 人)

更新件数 (障がい者 1 2 5 人 障がい児 7 7 人)

変更件数 (障がい者 3 7 人 障がい児 1 2 人)

令和 6 年度

計画作成件数 2 8 0 件（障がい者 1 8 6 件 障がい児 9 4 件）

(内訳)

新規作成件数 (障がい者 7 人 障がい児 7 人)

更新件数 (障がい者 1 5 1 人 障がい児 8 1 人)

変更件数 (障がい者 2 8 人 障がい児 6 人)

- ◆モニタリング件数 5 5 3 件（障がい者 4 1 5 件 障がい児 1 3 8 件）
- 令和 6 年度

モニタリング件数 4 8 3 件（障がい者 3 5 1 件 障がい児 1 3 2 件）

(11) 障害福祉サービス事業

①就労継続支援B型

雇用されることが困難な知的障がいの方に社会参加の場を提供し、生産活動及び生活指導等の支援を行いました。

事業所名 あま市くすのきの家（主たる事業所）

あま市美和ひまわり作業所（従たる事業所）

営業曜日 月曜日から金曜日まで（ただし、祝日及び年末年始は除く）

営業時間 午前8時30分から午後5時15分まで

提供時間 午前9時から午後4時まで

◆延べ利用者数 5, 718人

くすのきの家 3, 173人

美和ひまわり作業所 2, 545人

令和6年度

延べ利用者数 5, 710人

くすのきの家 3, 348人

美和ひまわり作業所 2, 362人

②生活介護

常時介護等を必要とする知的障がいの方が、安定した生活を営めるように、創作活動や日常生活訓練を中心としたプログラムを提供し、介護や日常生活上の支援を行いました。

事業所名 あま市くすのきの家（西館）

営業曜日 月曜日から金曜日まで（ただし、祝日及び年末年始は除く）

営業時間 午前8時30分から午後5時15分まで

提供時間 午前9時から午後4時まで

◆延べ利用者数 1, 317人

令和6年度

延べ利用者数 1, 557人

③居宅介護・重度訪問介護・同行援護・移動支援

障がい福祉サービスの居宅介護として食事・入浴・排泄介助の身体介護サービスや調理・清掃・洗濯の家事援助サービス等を行いました。

事業所名 あま市社会福祉協議会訪問介護事業所

営業曜日 月曜日から金曜日まで（ただし、必要と認められる場合は、休日及び営業時間外において可能な限り対応いたします。）

営業時間 午前8時30分から午後5時15分まで

◆延べ利用者数 1, 290人

令和6年度

延べ利用者数 1, 176人

(12) 総合相談・生活支援事業

①心配ごと相談

民生委員・児童委員・主任児童委員が相談員となり、第1木曜日に美和総合福祉センターすみれの里、第2木曜日に甚目寺総合福祉会館、第3木曜日に七宝老人福祉センターにおいて、午前10時から正午までの時間帯で広く地域住民の日常生活上のあらゆる相談に応じ、社会資源を有効に活用できるように適切な助言を行いました。

◆延べ相談件数 10件

甚目寺総合福祉会館	5件
美和総合福祉センターすみれの里	4件
七宝老人福祉センター	1件

主な相談内容：家族・高齢福祉・精神衛生・近隣トラブル等
令和6年度

延べ相談件数 6件

甚目寺総合福祉会館	3件
美和総合福祉センターすみれの里	1件
七宝老人福祉センター	2件

また、愛知県弁護士会に委託し、相談者に対して予約制で、第1・3木曜日に甚目寺総合福祉会館、第2木曜日に美和総合福祉センターすみれの里、第4木曜日に七宝老人福祉センターにおいて、専門的な立場から適確な助言を行いました。

◆延べ相談件数 168件

甚目寺総合福祉会館	83件
美和総合福祉センターすみれの里	46件
七宝老人福祉センター	39件

主な相談内容：相続・離婚・財産・家族等
令和6年度

延べ相談件数 159件

甚目寺総合福祉会館	80件
美和総合福祉センターすみれの里	39件
七宝老人福祉センター	40件

②司法書士による相続・登記相談

愛知県司法書士会と共同主催にて事業を実施し、相談者に対して予約制で、奇数月の第4木曜日にあま市甚目寺総合福祉会館、偶数月の第4木曜日にあま市美和総合福祉センターすみれの里、奇数月の第2木曜日にあま市七宝老人福祉センターにおいて専門的な立場から適確な助言を行いました。

◆延べ相談件数 42件

甚目寺総合福祉会館	16件
美和総合福祉センターすみれの里	15件
七宝老人福祉センター	11件

主な相談内容：相続・登記・民事一般等

令和6年度

延べ相談件数 43件

甚目寺総合福祉会館 19件

美和総合福祉センターすみれの里 18件

七宝老人福祉センター 6件

③日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）

日常生活に不安を抱える認知症高齢者・知的障がい者・精神障がい者の方に対して、専門員及び生活支援員が、福祉サービスを利用する支援を行いました。

また、愛知県社会福祉協議会と連携して円滑に自立支援サービスを提供しました。

◆契約者数 16人 ◆生活支援員数 8人

令和6年度

契約者数 22人 生活支援員数 8人

④法人後見業務「サポートあま」（成年後見制度）

法人後見業務では、認知症や知的障がい、精神障がいなどによって、判断能力が不十分になり、自分一人では契約や財産の管理などをすることが難しい方が、住み慣れたあま市（地域）で安心して暮らせるように成年後見制度の活用をお手伝いしました。

また、地域のセーフティネットとしての役割のほか、将来的な観点として後見業務への市民参加の場づくりや中核機関である、あま市権利擁護センターとの連携・協働を図りました。

◆受任件数 5件（後見2件 保佐3件 補助0件）

令和6年度

受任件数 4件（後見1件 保佐3件 補助0件）

(13) 貸付事業

①生活福祉資金貸付事業

低所得世帯等に対して、低利息又は無利子で資金貸付と民生委員等による必要な援助指導を行い、経済的自立や生活意欲の助長促進、在宅福祉や社会参加の促進を図りました。

また、新型コロナウイルスの影響を受け、休業などにより収入減少があり、一時的な生計維持のための緊急小口資金特例貸付と、失業等により生活困窮し、日常生活の維持が困難となった方に貸付けた総合支援資金特例貸付の借受け人に対して、生活状況等の調査や相談支援を行いました。

◆新規利用件数 14件（福祉資金） 相談数 173件

1件（教育支援資金） 相談数 21件

0件（総合支援資金） 相談数 11件

0件（不動産担保型生活資金） 相談数 11件

緊急小口資金等の特例貸付金支援数 24件

令和6年度

新規利用件数	5件（福祉資金）	相談数	83件
	1件（教育支援資金）	相談数	10件
	0件（総合支援資金）	相談数	2件
	0件（不動産担保型生活資金）	相談数	8件
	緊急小口資金等の特例貸付金支援数		8件

②くらし資金貸付事業

生活の不安定な低所得世帯に対して生活を保全し、経済的自立を助長しましたが、特例貸付（緊急小口資金・総合支援資金）を優先利用して活用いただいたため、実績はありませんでした。

◆新規利用件数 0件

令和6年度

新規利用件数 0件

③市つなぎ資金貸付事業

市内に居住する生活保護申請者及び被保護者に対して保護費支給までに、必要なつなぎ資金及び不時の出費の為に、必要な資金を無利子で貸付けました。

◆新規利用件数 25件

令和6年度

新規利用件数 29件